

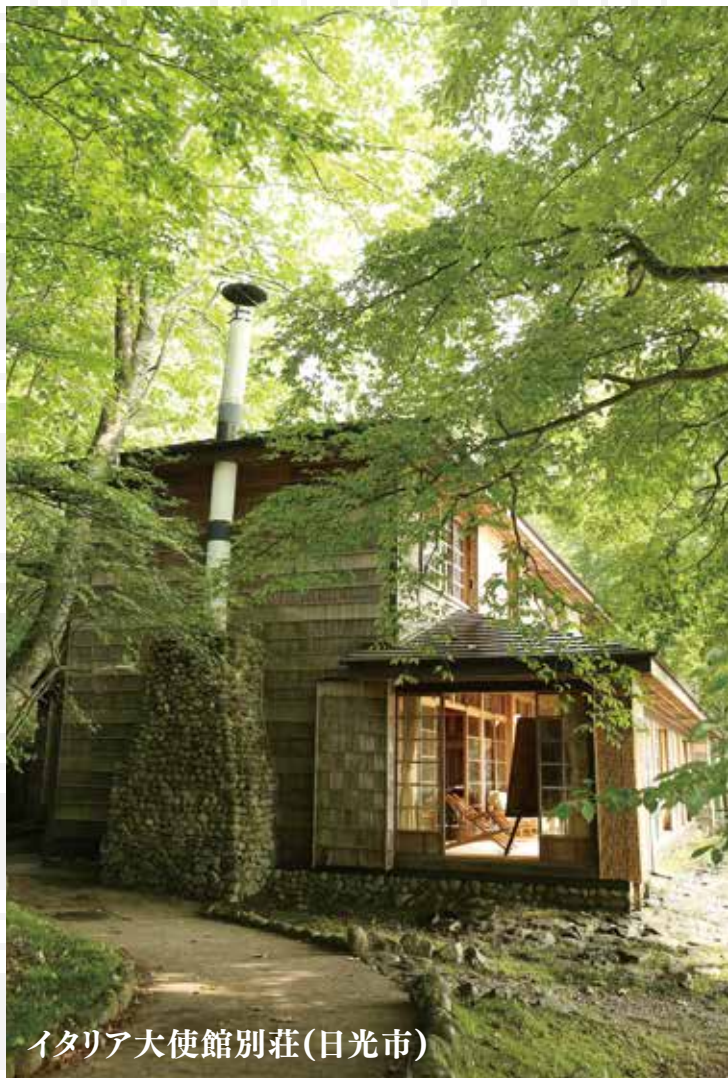
R.I.D 2550 TOCHIGI GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2025.04

Vol.10

Rotary



イタリア大使館別荘(日光市)

記事をタップ
ページにとびます



04 新入会員紹介

05 2025.06
主要行事予定

06 会員数報告

07 コーディネーター
NEWS

08 文庫通信

09 お知らせ

10 コラム

03 実施事業報告

- ◆第3グループA・B IM開催報告
- ◆第4グループ IM開催報告
- ◆地区チーム研修セミナー開催報告
- ◆財団補助金管理セミナー & 研修会
- ◆鹿沼近隣3クラブ合同例会

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財
鹿沼秋まつり彫刻屋台

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財
鹿沼秋まつり彫刻屋台

「中田町」

「下田町」



国際ロータリー第2550地区【栃木】2024-2025年度

My ROTARY | Rotary International



THE MAGIC OF ROTARY

ステファニー・アーチックRI会長は、ロータリーのマジックを強調します。ロータリー会員はプロジェクトを完了するたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、マジック（魔法）を生み出しているとアーチック会長は述べます。

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深める
- 4 みんなのためになるかどうか





GOVERNOR MESSAGE

国際ロータリー第2550地区 2024-25年度ガバナー

市田 登 鹿沼ロータリークラブ



桜が開花を迎え、春の訪れを感じる季節となりました。新年度を迎えお忙しくお過ごしのことかと思えます。

さて、日本ロータリー50周年記念事業のひとつとして、昭和45年に設立されたロータリアンのための資料室「ロータリー文庫」はロータリー関係の文献や資料などを、現在では電子図書館としてどなたでも利用することができます。その中でぜひとも閲覧していただきたいのが、佐藤千壽著「ポール・ハリスの言葉」です。

佐藤千壽氏(1918～2008)は東京東RCに在籍し、日本初(アジア初)の国際大会を東京で開催するにあたり尽力されました。1974-1975年度で第358地区ガバナー、1986年にはRI文献翻訳諮問委員も務められています。実業家(千住金属工業(株)社長・会長)としても活躍されました。

この「ポール・ハリスの言葉」は1935年にポール・ハリスが盟友チェスレー・ペリーの序文を付けて出版した「This Rotarian Age」から佐藤氏が選定した28の語句を解説したもので、ロータリーだけではなく人生の書として、時代を超えて私たちの心に響く原点のメッセージが込められています。佐藤氏はこの書

にて、「ロータリーにおける親睦とは例会場における親睦が第一眼目である。」また「ロータリーとは出席することと見つけたり」と例会・出席の重要性を解説しています。親睦-知り合いを広め相互理解を深め、奉仕の理念を共有し、様々な情報を得て奉仕の人を育てる場所がロータリークラブであると。

現代社会をはじめロータリーも変化し続ける中、今こそ、ロータリアン一人ひとりが原点回帰をし、例会のプログラムの質の向上に努め、会員一人ひとりの積極的な出席と関りにより、クラブの結束を強め、最良のクラブとなります事を願うものです。

「ロータリーは出席をうるさく言うけれども、出席は義務ではない。それは自分の為に貯金を作るのだ。出席すればその都度友達という貯金ができる。然も有難いことに、このロータリー貯金帳はいくら引出して使ってもいっこう残高が減らない」

安積得也(1900-1994) 東京南ロータリークラブ 内務官僚 第33代栃木県知事



EVENT REPORT No,01

2025年2月19日

2024-25RI2550地区第3グループA・B IM開催報告

第3グループAガバナー補佐
宇都宮陽北ロータリークラブ

長 正英

第3グループBガバナー補佐
宇都宮陽南ロータリークラブ

西根 伸行

2025年2月19日15時半よりベルヴィ宇都宮にて、ロータリアン、米山記念奨学生、ローターアクターなど約180名の参加により3部構成にて開催いたしました。

第一部は、「子どもの貧困の現状と地域に広がるこども食堂」と題しまして一般社団法人栃木県若年者支援機構代表理事の中野謙作様にご講演をいただきました。子供の貧困問題はなかなか表面的にわかりづらい中で、我々に何ができるのかを考えるきっかけになったと思います。またこども食堂と行政とのかかわりなどを詳しく語っていただきました。

第二部では、今年度、市田ガバナーの最大のテーマである、「会員増強について」10クラブの会長さんからいろいろな切り口から熱く



語ってもらいました。

第三部は懇親会となり、「手に手つないで」にて20時に終了いたしました。

また、昨年同様、寄付もさせていただきました。「能登半島地震及び豪雨災害に係わる支援金」を第2610地区(石川・富山)へ、「ロータリー希望の風」へ、「栃木県子ども食堂」へ、「地区ローターアクトクラブ活動」へ、「地区米山記念奨学会学友会」へそれぞれ寄付させていただきました。

IMの目的である、各クラブの情報交換、知識、親睦を深めることならびに、今後のロータリー活動へのヒント、また自己研鑽の良い機会となったと思います。





EVENT REPORT No.02

2025年2月23日

2024-25RI2550地区第4グループ

IM開催報告

第4グループガバナー補佐
真岡西ロータリークラブ

柳澤 最伸

第2550地区第4グループ(真岡RC・益子RC・真岡西RC・下野上三川RC)では、令和7年2月23日(日)真岡西RCがホストクラブとして、90数名のRC会員が参加のもと、真岡市の「フォーシーズン静風」を会場として開催しました。入会5年未満の会員を対象として、2550地区パストガバナー(真岡RC所属)であり、米山記念奨学会のカウンセラーでもある石田順一氏を講師に迎え、「米山奨学会について」と題してのオリエンテーションを受けました。

インターシティ・ミーティングでは各クラブ会長の現況報告が、プロジェクターを使用した発表があり、目で見て聞くとする形の活動状況が理解できました。石田パストガバナーもプロジェクターを使用した講義であり、今後はプロジェクターを使用した形での研修会がより増えると思います。基調講演としては、日光RC幹事であり、日光輪王寺の執事長で

ある今井昌英師より「日のひかりほとけさまの光」と題して真岡と日光の歴史的なつながり、日光山の歴史、仏さまの教えなどについてご講演をいただきました。

最後に懇親会の席上で、20年年前に市政50周年・西クラブ20周年を記念して市に環境都市宣言のモニュメントを制作寄贈しました時に、地域の中学生に「20年後の自分」を題して手紙を書いてタイムカプセルを埋設しました。時あたかも23日でしたので、事前に掘り返し各中学生に「自分への手紙」を送りました。届いた方には20年前の自分を思い返して下さると思います。その活動発表を紹介して楽しい懇親会が始まりました。ブレックスチャリーダーによるパフォーマンスに始まり、懇親を深め参加者全員での「手に手つないで」を唱和して終了しました。各クラブ参加者皆様のご協力により、異議あるIMとなりました事に感謝申し上げます。





EVENT REPORT No,03

2025年3月2日

地区チーム研修セミナー 開催報告

RI2550地区幹事
宇都宮北ロータリークラブ

田村 吉幸

2025年3月2日(日)ベルヴィ宇都宮において2025-26年度の地区チーム研修セミナーが開催されました。

二十二ガバナーエレクトよりR I 会長メッセージ、国際協議会報告、地区方針(案)を次期ガバナー補佐、次期地区委員の方々にお話をされました。続いて鈴木地区ラーニング・ファシリテーターの提案でロータリーの目的(Object of Rotary)を参加者全員で唱和し、地区チームで団結して地区内クラブが益々元気になれるよう支援していきましょうとのお話をいただきました。

2025-26年度R I 会長はマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏(アンサンドレRCブラジル・サンパウロ)です。「ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。」2025-26年度のR I 会長メッセージ“Unite for Good”(よいことのために手を取りあおう)が発表されました。

二十二ガバナーエレクトはメッセージとして「ロータリーは人をつくり友情を育む」と話されました。

《行動指針》

ロータリー運動の目的は人づくり。ともに行動しロータリーを楽しむことで、友情を育みつなげることとおもいます。

今一度ロータリーの目的・ビジョン声明を思い起こし、ともに行動しよう。

《行動目標》

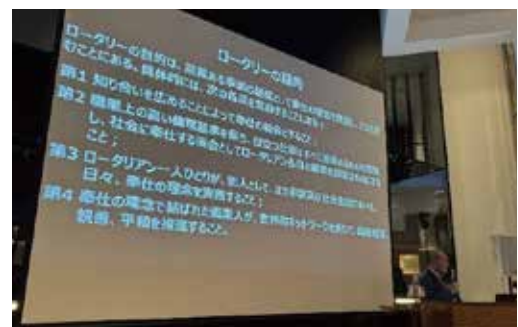
ロータリーのビジョンを実現するためには計画が必要です。ロータリーの行動計画(行動指針)を実践しましょう。

- ①参加者の基盤を広げる(Reach)
- ②より大きなインパクトをもたらす(Impact)
- ③適応力を高める(Adapt)
- ④参加者の積極的なかわりを促す(Engagement)

ますます元気なクラブと地域社会になるようともに手を取りあって行動しましょう。

私(地区幹事)よりPETS・SETS、地区協議会・研修会の諸事連絡を行い、仲田次期地区区計長より次年度予算案が発表されました。その後、各委員会にて次年度の方針が協議され、方針の発表、質疑応答をもって閉会となりました。

ご参加いただきました地区役員、委員会の皆様のご協力に感謝申し上げます。





EVENT REPORT No,04

2025年2月15日

財団補助金管理セミナー & 研究会

財団補助金小委員会 委員長
足利東ロータリークラブ

赤坂 圭一

2025年2月15日、ベルヴィ宇都宮にて「25-26財団補助金管理セミナー & 研究会」が開催されました。

はじめに飯村慎一ロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) にご講演をいただき、「ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられている」「力を合わせれば世界を変えることができる」という力強いお言葉をいただきました。

引き続き、地区財団委員会より次年度の補助金申請についての説明が行われました。当日配布資料にある「授与と受託の条件」の遵守は必須となっております。また、提出書類の期限は厳守お願いいたします。

財団年次寄付の地区目標は、会員1人あたり年次基金150ドルです(別途ポリオプラス30ドル)。ご寄付いただいた金額の半分は世界

のロータリアンとシェアされ(ワールドファンド)、残りの半分は3年後に地区へ戻ってきます。それらが地区補助金、地区財団活動資金(DDF)となります。

また、ワールドファンドは、世界中のロータリアン・ロータリークラブが7つの重点分野への支援として、また人道支援として使われます。志はあっても現実的には現地に赴き活動することができない私たちに代わって、財団への寄付(支援)が威力を発揮します。目指すものは健康・安全な生活、貧困からの脱却、世界理解、親善、平和の構築。ぜひご寄付の用途もご理解ください。

地区財団委員会は、補助金・ポリオプラス・資金推進並びに恒久基金/大口寄付推進・資金管理・ロータリー平和フェロシップ・学友の各小委員会をもって構成されています。それぞれがロータリー財団の使命、ロータリーの理想の実現のために非常に重要な役割を担って活動しております。ぜひ皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。





EVENT REPORT No,05

2025年2月26日

鹿沼近隣3クラブ合同例会

鹿沼東ロータリークラブ 会長 大門 信吾
鹿沼東ロータリークラブ 幹事 篠原 浩

2025年2月26日(水)、皐月ゴルフ倶楽部鹿沼コースレストランにて、鹿沼ロータリークラブ・鹿沼中央ロータリークラブ・鹿沼東ロータリークラブ、総勢76名によります『近隣3クラブ合同例会』を開催いたしました。第7グループガバナー補佐池澤様をご来賓にお迎えし、鹿沼RC岩本会長、鹿沼中央RC石川会長、鹿沼東RC大門会長による各クラブの事業報告や今後の活動内容などを行いました。懇親会では、アトラクションとしてダンサー6名によるポールダンスを行い、美しく力強い大迫力なショーを間近で見ることができ、最後には手に手つないで作った輪の様に近隣のクラブの親睦を深め、協力し、地域貢献奉仕活動を行って参りたいと思います。



NEW MEMBER

新入会員



下野上三川RC

石上商事(有)
代表取締役社長

野澤 一雄

(のざわ かずお) 2025.3.5入会

楽しみながら出席し、心が癒される時間になりたいと思います。



葛生RC

佐野信用金庫葛生支店
支店長

田辺 吉治

(たなべ よしはる) 2025.2.1入会

会員の皆様と力を合わせ、地域社会に奉仕し貢献できるよう尽くして参ります。

24-25・25-26年度 地区内主要行事

月	日・曜日	地区内	場 所
4	6 (日)	米山新規奨学生オリエンテーション	ホテルニューイタヤ
	19 (土)	下野上三川ロータリークラブ創立30周年記念式典	フォーシーズン静風
	19 (土)	鹿沼ロータリークラブ創立65周年 台湾・韓国姉妹クラブ歓迎会	東武ホテルグランデ
	20 (日)	鹿沼ロータリークラブ創立65周年記念式典	東武ホテルグランデ
	22 (火)	ゴルフ選手権大会	日光カントリー
	27 (日)	25-26年度地区研修・協議会	作新学院大学
	27 (日)	青少年交換第4回オリエンテーション	
5	8 (木)	25-26年度第5回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
6	7 (土)	RLI卒後コース	ホテルニューイタヤ
	8 (日)	高校生RYLAセミナー	
	12 (木)	25-26年度第6回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	14 (土)	インターアクト第2回合同会議	ホテルニューイタヤ
	15 (日)	米山第1回地区米山委員会 米山奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ
	22 (日)	青少年交換第5回オリエンテーション	とちぎ青少年センター
7	6 (日)	25-26第1回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮
	6 (日)	25-26第1回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮
	27 (日)	米山クラブ委員長会議	ホテルニューイタヤ
8	8(金)	第29回インターアクト年次大会 ホスト:宇都宮南高等学校	ホテルニューイタヤ
	22(金)	米山奨学生学校説明会 (指定校対象)	オンライン
9	26(金)	25-26年度地区大会記念ゴルフ大会	宇都宮カンツリークラブ
	27 (土)	25-26 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会	ベルヴィ宇都宮
	28 (日)	25-26地区大会 本会議	ライトキューブ宇都宮
11	9 (日)	米山カウンセラー研修会	ホテルニューイタヤ
	16 (日)	第28回地区親善野球大会	鹿沼市運動公園野球場 (ヤオハンいちごパーク)
	22 (日)	米山面接官任命 面接官オリエンテーション	ベルヴィ宇都宮
	22 (日)	米山学友会総会・米山ナイト	ベルヴィ宇都宮
12	14 (日)	米山2026学年度奨学生選考試験	ホテルニューイタヤ

国際ロータリー第2550地区2月会員数報告

分区	クラブ名	例回数	会 員 数							
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	3	19	19	0	0	2	2	0	2
	黒 磯	2	33	33	0	0	0	0	0	3
	西那須野	3	43	44	0	0	2	1	1	3
	黒 羽	3	7	6	0	0	0	1	-1	0
	大田原中央	2	21	18	0	0	1	4	-3	1
第2グループ	烏 山	3	14	14	0	0	0	0	0	2
	氏 家	3	27	27	0	0	0	0	0	3
	馬頭小川	3	15	16	0	0	1	0	1	0
	高根沢	4	11	12	0	0	1	0	1	1
第3Aグループ	宇都宮	4	93	97	0	0	8	4	4	4
	宇都宮西	3	64	67	0	0	5	2	3	0
	宇都宮北	5	38	39	0	0	1	0	1	0
	宇都宮90	2	38	39	1	0	2	1	1	6
	宇都宮陽北	4	48	58	1	0	14	4	10	8
第3Bグループ	宇都宮東	3	102	100	0	0	2	4	-2	0
	宇都宮南	4	56	58	2	1	5	3	2	6
	宇都宮陽東	5	48	48	0	0	0	0	0	10
	宇都宮陽南	4	19	18	0	0	0	1	-1	5
	宇都宮さつき	5	23	23	0	0	1	1	0	4
第4グループ	真 岡	3	49	50	1	0	3	2	1	0
	益 子	4	32	34	0	0	3	1	2	3
	真岡西	4	38	39	0	0	1	0	1	5
	下野上三川	4	21	22	0	0	1	0	1	3
第5グループ	小 山	3	18	22	0	0	5	1	4	1
	小山南	3	15	16	0	0	1	0	1	2
	小山東	2	22	22	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	24	26	0	0	2	0	2	0
	小山中央	2	23	24	0	0	1	0	1	2
第6グループ	栃 木	4	43	44	1	0	2	1	1	6
	栃木西	4	29	31	0	0	3	1	2	0
	岩 舟	2	8	9	0	0	1	0	1	0
	壬 生	3	16	15	0	0	0	1	-1	1
	栃木南	3	35	37	0	0	3	1	2	8
第7グループ	日 光	3	17	17	0	0	1	1	0	4
	鹿 沼	3	63	62	0	0	1	2	-1	2
	今 市	2	37	42	0	0	6	1	5	1
	鹿沼東	4	41	42	0	1	2	1	1	6
	鹿沼中央	2	11	11	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	2	26	26	0	0	2	2	0	0
第8グループ	足 利	2	20	24	1	0	5	1	4	2
	足利東	3	38	39	0	0	1	0	1	3
	足利西	2	10	12	0	0	2	0	2	0
	足利わたらせ	3	28	28	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐 野	2	47	49	1	0	3	1	2	0
	葛 生	2	39	39	0	0	0	0	0	0
	田 沼	4	43	44	1	0	4	3	1	0
	佐野東	3	21	21	0	0	0	0	0	2
	47RC		1533	1583	9	2	98	48	50	110

Rotary 
Region 1, 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2025年4月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RC, RPIC, RRF, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

毎日がポリオデー

第1地域 ポリオ根絶コーディネーター 松田 英郎（富良野 RC）

2024年10月19日今年度もポリオ根絶に関してロータリーが日経新聞に広告を出した。ご承知のようにポリオ根絶はロータリーの最優先事項で、我々の取り組みを少しでも知っていただきたい、支援を広げたいとの意思表示である。

今まで、野生型ポリオウイルスの根絶を約束し、着実に結果を出してきていたが、ここへ来てあと少しの所での足踏み状態となっている。しかし、ここで後戻りすることはできないのである。

ポリオウイルス感染は生ワクチン由来（伝播型）の感染が各国で発症しており、多くの先進国で近年ポリオ感染が無いため、ワクチン接種を行わず、免疫力低下により成人でもポリオ感染者が存在している。完全に油断である。

昨年9月からの「ガザ地区での停戦、ワクチン接種施行」はご承知の方も多いと思われるが、戦争は武器のみならず、感染症で子どもの健康まで奪い取る残忍な状態の故、人道的観点から一時停戦しワクチンを接種した。接種率を90%以上達成（予防に必要な接種率）したようである。

日本は太平洋戦争の敗戦後、最貧国となり、ボロボロの状態で多くの感染者が発症した。運良くカナダ、ソ連からのワクチンの緊急輸入で、急速にポリオ感染が急速に収束した。しかし、ワクチン接種を終了せず、今も不活化ワクチン接種が行われている。生ワクチンと違いワクチン由来のポリオ感染はほぼ無いと言っているが、輸入ポリオによる感染のリスクはある。日本も対岸の火事ではすませないのだ。

なぜ今さらポリオと言う意見がある。グローバルな社会で全地球を考えると「根絶できうるいま進行形の病気」であることを知っていただきたい。

10月には多くの地区で、ポリオに関して多くの催しが開催されたと思われる。たくさんの寄付を頂き、多くの方へのアピールはきっと成功したに違いない。だが、その時だけで終わってはならない。

これから、「毎日がポリオデー」と言いたい。





第2地域 ロータリーコーディネーター 野口 英一（甲府 RC）

国際協議会が終わり、ガバナーエレクトの皆様は三大セミナー開催の真っ最中、クラブ会長・幹事エレクトの皆様も PETS (PELS) や地区協など次年度の準備に忙しい時期かと存じます。

今年の国際協議会では、マリオ会長エレクトのイニシアチブとして、会員増強を最重要課題とし、革新、継続性、パートナーシップの重要性を語られました。単年度制のロータリーにおいて、ここ数年継続性を特に強調されています。行動計画と 3-Year rolling goals はその重要なツールの一つと言えます。クラブの現状をしっかりと認識し、次年度・次々年度も含めて 3 年間の目標を立てる、そして毎年見直して成長に繋げようというものです。各地区の行動計画推進委員の指導の下、入力を強く奨励しております。(My Rotary クラブセントラル に直接入力、詳細は [JAPAN ポータルサイト](#) または右 QR コードからご覧下さい。

地域の経済団体、各業界団体、教育機関等とのパートナーシップを深め、ロータリーのインパクトを高めていきましょう。

国際協議会では、「クラブは地域社会で存在感を持っていますか」という問いかけがありました。何をやっているか分からないクラブに入りたいと思うのでしょうか？地域社会に根差した活動や国際奉仕をしっかりと実践し、地域の皆様から自分も参加したいと思われるようなクラブ作りこそが基本です。ホームページや各種メディアの利用、SNS での発信なども重要になります。次年度が素晴らしい年度になりますよう期待しております。

現ガバナー、クラブ会長幹事さんは年度終盤、年度末の会員減などがないように例会や活動を更に充実させて頂き、次年度への引き継ぎと 3Year への記入を必ずおやり頂きたく存じます。

前回好評でしたクラブの現状を確認できるグラフを一部修正して掲載しますのでご利用下さい。





第3地域 行動計画推進リーダー 硯川 昭一（熊本江南 RC）

既に8月号にて第1地域菅原さん、11月号にて第2地域桑澤さんより、「ロータリーの行動計画(指針)の推進」と「3-year rolling goals」につきまして、その意義、経緯、そして現状につきましての詳細なお話がありました。今や、3年間に改修されたクラブセントラルへ、各クラブの方針の目安が連携する役員によって議論され、3年分繰り返し入力して行くことが周知されつつあると感じています。改修されたクラブセントラルの26項目。その中には6つの最優先目標が含まれています。これらは4つの優先事項(行動指針)に沿って項目化されています。



「より大きなインパクトもたらす」ここにはロータリー財団補助金を使った積極的な奉仕活動と、奉仕後、その結果をしっかりと検証していくことが謳われています。ここでは6つの最優先目標の中の3つ。「財団寄付」に関することが主題となっています。

「参加者の基盤を広げる」これは会員増強を目指しています。多くの団体とのパートナーシップを築きながら、公共イメージアップにも力を入れ、新クラブも立ち上げて行こうというものです。ここでの最優先目標は「会員増強数」となります。

「参加者の積極的なかわりを促す」これは会員維持を強調しています。ベテラン会員も若い会員ももれなく、親睦活動、奉仕活動に積極的に参加できているか、しっかり目配せ願いたいということです。さらに若い会員にとっての関心の一番はリーダーシップスキルの向上とありますので、RLIへの参加、マイロータリーからのラーニングセンター活用などは特に重要かと考えます。この最優先目標は、「奉仕活動に延べ何人が参加するか」ということです。

「適応力を高める」つまり革新的なクラブを作ろうということですが、これは、コロナ感染症によりまして、ロータリークラブでは劇的に進みました。今では当たり前のZOOM会議ですが、コロナ感染症前はとても想像つかなかったことかと思えます。今年規定審議会が行われますが、クラブでも例会方法、会員資格など柔軟にクラブ細則を見直して頂きたいと思えます。ここでの最優先目標は「戦略計画があるか」です。

クラブセントラルの26項目のうち、少なくとも半分以上を設定し達成することにより、クラブ優秀賞がもらえることになっています。これらの6つの最優先目標も26項目に含まれており、達成することにより受賞に近づいて行きますので、積極的に取り組んで参りましょう。

さらに、新しい試みとしまして、次年度はグーグルフォームによる進捗状況報告を活用した、クラブサポートミーティングを定期的に行うことが、水野 RI 理事主導のもとガバナーエレクトと検討されています。以上申し述べましたが、クラブによって関心度は全く違うかもしれません。しかしながら、まずは一歩踏み出してみようではありませんか！





文庫通信 [391号](#)：国際ロータリー情報

[ロータリー章典 2025年2月版改正点（2024年10月版から）最新の日本語版発行後からの改正（私的翻訳）](#)

翻訳：杉田博/R.I./2025/24P

[ロータリー章典 2025年2月 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2024/550P

[ロータリー財団章典 2025年2月 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2025/260P

[RI 理事会議事録 2024年10月 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2024/51P

[ロータリー財団管理委員会 議事録 2024年10月 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2024/22P

[国際ロータリー年次報告書・ロータリー財団年次報告書 2023-24 日本語版](#) R.I./2024/13P

[国際ロータリー監査済財務諸表 2023-24 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2024/31P

[ロータリー財団監査済財務諸表 2023-24 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2024/22P

[PRESIDENTIAL EXPENSES 2023-24（会長経費） \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2024/2P

[DIRECTORS' EXPENSES 2023-24（理事経費） \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2024/6P

[TRUSTEES' EXPENSES 2023-24（財団管理委員経費） \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#) R.I./2024/5P

※参考訳はRI非公式であり、AI翻訳のため正確ではないところもございます。あくまで参考として

「公式英文書」ご理解の一助としてご活用ください。なお、該当PDFファイルの末尾（-2.pdf）が参考訳です。

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階

TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

大船渡山林火災義援金送金報告

前略 平素より地区運営にご理解とご協力を賜り有難うございます。

先日皆様をお願いいたしました「大船渡山林火災義援金」ですが、地区内 40 クラブよりご協力をいただきまして 1,500,000 円が集まり、3/26 に国際ロータリー第 2520 地区（岩手・宮城）へ送金いたしました。

被災地の一日も早い復興を祈念しますとともに、皆様のご協力に感謝申し上げます。

有難うございました。

国際ロータリー 第 2550 地区
ガバナー 市田 登

コラム



ユネスコ無形文化遺産 国指定重要無形民俗文化財 鹿沼秋まつり彫刻屋台

今月の彫刻屋台：「下田町」

屋台の大きさは他町とほぼ同じであるが、箱棟までの高さ(429センチ)は最も高く、逆に台輪は最も低いので、彫刻の占める面積が広く、覆いかぶさるような鬼板(おにいた)の竜と相まって、豪壮雄大で重量感のある白木造彫刻屋台となっている。鹿沼の屋台で唯一、方向転換の際にテコを利用する昔ながらの方法をとっている。

文久2年(1862)に製作された屋台で、右脇障子右下隅に「石塚吉明彫刻」という刻銘が残っている。石塚吉明(2代目直吉・戸張町住)は、今宮神社本殿彫刻など各地に作品を残している。彫刻は竜を主体とし、鬼板(おにいた)・懸魚(げぎょ)・高欄下(こうらんした)・車隠し等に見られ、白木地彫の持つ力強さを遺憾なく発揮した豪壮な彫刻屋台である。「大鷲と竜馬」の脇障子、障子回りや欄間には「花鳥」の繊細な彫刻、蹴込みには籠彫(かごぼり)の毬など見どころが多い。県・市の助成にて、彫刻・破風・高欄などの修理が完了した。

(昭和61年市指定有形文化財)

今月の彫刻屋台：「中田町」

屋台は白木造彫刻屋台で、その大部分は、天保年間(1830頃)に造られたものである。この屋台は、日露戦争の不況時に日光の十字屋に売却され、一部彫刻が補われて商品として陳列され、後に宇都宮の宮島町に買い取られ、それを中田町が買戻すなどの経緯があった。鬼板(おにいた)を飾るのは、籠彫(かごぼり)の玉をつかんだ巨大な「波竜」で、彫技の冴えを見せている。真下にある懸魚(げぎょ)の「波竜」と、呼応する構図も見落とせない。

車隠しには「牡丹に唐獅子」で、ここにも精巧な籠彫の毬を添えてある。後障子の「大鷲と猿」の構図も素晴らしい。(彫師不明) 県・市の助成にて、平成10年より、車輪と台輪の新調、屋根と柱の修理、彫刻の補修等が完成した。

(昭和61年市指定有形文化財)

今月号表紙

『イタリア大使館別荘』日光市

明治18年、上野一宇都宮間に鉄道が開通すると、日光は外国人避暑客や旅行者で賑わいを見せた。その結果、鉄道による観光地の混雑と俗化を厭がった外交官たちは日光に設けた別荘を引き払い、より閑静な奥日光中禅寺湖畔に移り住んだ。

「下田町」



「中田町」



市田ガバナー公式インスタグラム

市田ガバナーの活動の様子など
情報発信しています！
ぜひフォローをお願いします。



@GOVERNOR_ICHIDA.2550

2025年4月1日

ガバナー月信編集チーム

【発行責任者】地区幹事 金子昭彦(鹿沼RC)

【メンバー】櫻井武彦・瀬谷一世・星野詠一

香川道雄・内野義忠・浅野知則 以上 鹿沼RC